

## ＜上棟式の楽しみ方＞

最近では滅多に見かけない上棟式。

どのようにして執り行われるのかや、楽しみ方など簡単にご説明いたします。



### 上棟式の流れ

上棟式は建築にかかわる神さまをお奉りし、無事、棟上げできたことや、その後の工事の無事完成を願って行われる儀式です。

修祓の儀：心身を清めるため、お祓いする儀式

降神の儀：神さまをお招きする儀式

献饌の儀：神さまにお供えをする儀式

祝詞奏上：ご加護をいただけるよう神さまへ言葉をお伝えする儀式

曳綱の儀：棟木を棟に引き上げる儀式

槌打の儀：棟木を棟に打ち固める儀式

玉串奉奠：神に願いを込めて奉げる儀式

撤饌の儀：お供えを下げる儀式

昇神の儀：神さまにお戻りいただく儀式

散餅銭の儀：お金やお餅、お菓子などを撒く儀式。本来は災いを祓うための儀式

すべての儀式が終わるのに40分ほどかかります。慣れないことばかりで、始まるのも遅れますから、一時間くらい見ておくといいでしょ。

### 上棟式の楽しみ、餅ひろい

一番の楽しみは散餅銭の儀ですね。餅投げともいい、お金やお餅、お菓子などが撒かれます。

・お金：五円玉などを、建て主の中で一番年齢の多い人の歳の数だけ撒きます。

今回は五円玉を、私と妻と子供の年齢を足した数だけ撒きます。

拾ったら使わずに、めでたい物として神棚などにお供えします。

・お餅：初めに隅餅を、東西南北の角から七つずつ撒きます。

隅餅の中には、各角角の一つずつ、墨で方角が書かれたお餅がありますので、もし拾ったら後でそれを受付に持ってきてください。大きなお餅と交換します。

これを本当の隅餅といい、昔は家に持ち帰るまで奪い合いでした。

大きくて自宅では食べきれないようでしたら、おすそ分けをしてもいいでしょう。

この後もお餅を撒きますが、拾った餅は焼かずに、茹でて食べるのが慣わしです。

餅を焼かないことで、火事を起こさないように願う心づかいです。

・お菓子：昔はなかったと思いますが、私が物心ついた頃からお菓子が撒かれていました。

餅だけでは子供がつまらないだろう、と始まったのではないかと思われま。



## 餅ひろいのコツ

・下を見て拾うべし！

上を見ていると、ほとんどキャッチできないので、地面を見て拾うこと。  
ただし、隅餅のときは上を見ている方がいいでしょう。

・お年寄りに気をつける！

特に「腰の曲がった」おばあさんは強敵です。  
近くにいたら、少し離れましょう。横にいと、手に取ったと思っても奪われます。

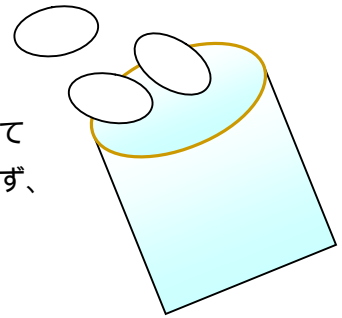
・アピールすべし！

お餅やお菓子があまり来ないようでしたら、「こっちへ投げて～！」と優しくアピールすると、投げてくれるかもしれません。

・袋を工夫すべし！

次から次へと落ちてくる餅やお菓子。  
せっかく拾ったのに袋が閉じていては、どんどん拾うことができません。  
そこで、私が子供のころに実践して、大きな成果を挙げた方法を伝授しましょう。

丈夫なビニール袋と竹ひご（または針金）を用意します。  
竹ひごをビニール袋の口に回し、セロテープで止めます。  
ちょうど、鯉のぼりの口のように、ビニール袋がいつも開いているようにします。そうすると、袋の口が閉まるのを気にせず、拾うことに集中できます。



さあ、楽しみになってきましたね？

では当日のお天気を願って、気をつけてお越しく下さい！

拾うのに夢中になって怪我をしないように気をつけるのも忘れないで下さいね。



もちなさんこうしゃしん  
餅投げ参考写真